

Lecture 1 Dr. Yoshihiro Ueda



講義

2025.5.20(火)～5.24(土) / 8:30 - 12:00
福山ニューキャッスルホテル 3F <光輝の間>

「Roses for the Future」という大会テーマに沿って、各日に「アジアのバラ」「品種保存」「耐病性」「新たな技術」というサブテーマを設け、14の講義と育種家によるパネルディスカッションが行われました。

各国における取組やばらの事情を伝える講義には、福山市内でばら育成に取り組む方を含め多くの愛好家に参加し、熱心に質問し記録をとっていました。特にアジア・日本のばらやその歴史をテーマにした講義に興味を示していました。

THEME.1 アジアのバラ

5.20(火)



Lecture1

日本の育種家により
育成されたバラ
上田 善弘 博士



Lecture2

歴史的な日本画に
描かれたバラ
白砂 伸夫 博士



Lecture3

日本の野ばら、
ノイバラから始まる物語2
ランブラーローズ
御巫 由紀 博士



Lecture4

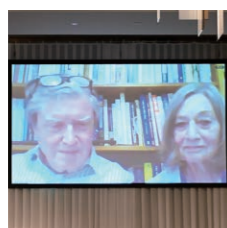
中国の野生バラと
オールドローズ
姜 正之

モデレーター: Helga Brichet(世界バラ会連合名誉会長) / 西尾 讓司 博士(日本ばら会常務理事)



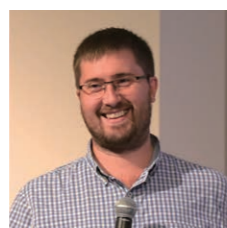
THEME.2 品種保存

5.21(水)



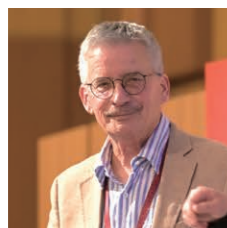
Lecture5

未来につながるバラの
品種保存
Brigid &
Charles Quest-Ritson



Lecture6

Rosa persica 交雑種の英国
ナショナルコレクション
Daniel Myhill



Lecture7

カリフォルニアの
バラの歴史
Gregg Lowery



Lecture8

スウェーデンにおけるファウンドローズの
収集と品種保存
Svein Osen

モデレーター: Martin Stott(英国ばら会) / 御巫 由紀 博士(千葉県立中央博物館 展示課長)



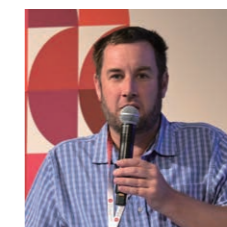
THEME.3 耐病性

5.23(金)



Lecture9

ポーランドのバラ
新品種試作場と
イタリアのバラ
Dr. Maria Eva Giorgioni



Lecture10

バラを病気に強くするには
-品種改良と栽培との組み合わせ-
Hayden Foulds



Lecture11

耐病性育種:
科学的、実用的な
視点から
Dr. Thomas Debener



Lecture12

景観植栽のなかの
ローズゼット病と
その対策
Dr. David H. Byrne

モデレーター: Steve Jones(世界バラ会連合編集長、元世界バラ会連合会長) / 中山 真義 博士(農研機構 野菜花き研究部門)



THEME.4 新たな技術

5.24(土)



Lecture13

バラの香りの系譜と
新たな香気成分
大久保 直美 博士



Lecture14

栽培バラに四季咲き性と
八重咲き性をもたらした
突然変異の起源
河村 耕史 博士

モデレーター: Diane vom Berg(世界バラ会連合会長) / 上田 善弘 博士(世界バラ会議推進プロジェクトマネージャー)



◆ パネルディスカッション

各国を代表する育種家5人が育種について語ったパネルディスカッションでは、写真を交えながら、未来のばらに関する議論に花を咲かせました。

モデレーター
Daniel Boulens

パネリスト
Doug Grant
木村 卓功
Ping Lim
Matthias Meiland
Martin Vissers

